

曹洞宗中国管区 教化センターだより

平成十一年度

布教教化方針

まごころに

生きる

正法の興隆と曹洞禅の宣揚を願い、
信仰心の確立を促し、教化宗団「曹洞宗」として、「人権・平和・環境」を教化の柱とし、「まごころに生きる」仏道修行の展開を図るため、次のごとく布教教化方針を定める。

特に、地球環境をまもる全曹洞宗の運動「グリーン・プラン」と道元禪師ご生誕八百年慶讃行事並びに七百五十回大遠忌予修法要を推進する。

《発行所》

曹洞宗中国管区教化センター
〒722-0033 尾道市東土堂町17-29
TEL.0848-25-2855

《印刷所》

有限会社エスエスプリント
TEL.0849-51-4884

目次

・ 統監退任・就任ご挨拶	2
・ 管長退任・就任ご挨拶	4
・ 宗務所長就任ご挨拶	6
・ 誌上法話	8
・ サマーセミナー	10
・ 禅をきく会	11
・ 布教協議会・講習会	13
・ 青少年	14
・ 婦人会	15

一、仏法僧の三宝に帰依し、一仏
両祖を奉祀して、宗門の教え
を行じ、仏教徒として正しい
信仰心を育む。

二、道元禪師ご生誕八百年を祝い、
慶讃行事並びに七百五十回大
遠忌予修法要を奉修する。

三、一人ひとりの人権を尊重する
とともに、あらゆる差別の撤
廃のため啓発教化に取り組む。

四、戦争の惨禍と自省を忘れるこ

となく、いのちの尊厳を自覚
し、世界平和の実現に向けて
努力する。

五、自然の恩恵に感謝し、環境と
の調和につとめ、もののいの
ちを生かし合う生活を営む。

六、授戒会修行を奨励し、生前受
戒をすすめる。

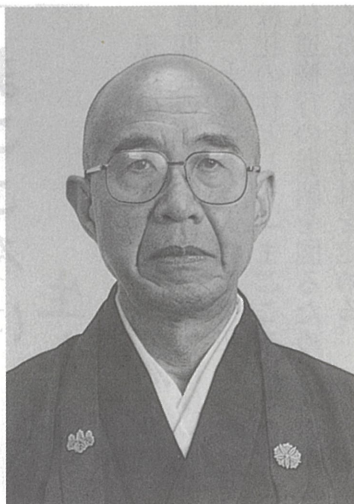
七、海外における禅の国際的高揚
に応え、布教教化の充実発展
を図る。

退任のご挨拶

前統監

阿弥陀寺住職

宮田玄洞



任に値いしない愚鈍不徳の器でありながら、統監を二期、主監の任期を併せて十年間、本部布教の重任を大過なく、果たすことができましたのは、管内各宗務所長老師、役員諸老師、管内諸老師のご指導ご法愛のお陰によるものと深く感謝申し上げます。

昭和三十九年、大本山総持寺での第一回布教師養成所での受講が機縁となり、不向きだと常に戸惑い不安を抱きながら、布教師の道を歩むことになり、管内、管区、特派布教にも従事しました関係で、その間ご叱声を蒙り、ご迷惑をかけながらも、見聞を広め勉強す

る、良いご縁をいただきましたことをありがたく思っております。

昔年を回顧し身に沁みて感じますことは、教化力を失った寺院は廃退の一端をたどるということでありました。その著しい現象は、高知県等では、廃仏毀釈によって、二百ヶ寺余りあったものが、現在に至るも二十数ヶ寺で、如何に三宝住持の道念篤く、弄精魂をもつてしても、一度機能を失えば、再建は至難で容易でないことを、現実が物語っております。

反面伽藍が整備され、恵まれた寺院の多い地域は、常に教化に意を注いで

おられる背影のあることを、強く認識させられております。

経済不況、人間関係の崩壊、資本主義社会の産み出す、欲望の噴出する現代社会の中で、果たさなくてはならぬ宗門僧侶の役割りを、改めて問い正さなくてはならぬ、厳しい時に至っているように思われます。

お寺の存在意義は、礼仏の道場であり、修行の道場であり、葬祭の道場であり、和合の道場であることですが、その根底には常に教化の道場としての役割りを、如何に定着さすか、その重責を共に自覚したいものであります。

仏陀釈尊も、高祖さまも、太祖さまも、大衆化導のご生涯でありました。その行履をお慕いし、菩提薩埵の誓願に生きる事が今日まで蒙りました、ご道情に対しての酬恩の道と心して精進しなくてはと願っております。

謹んでご縁をいただきました、諸老師をお偲びしつつ、聖胎ご長養と不退换のご活躍をご祈念申し上げます、退任のご挨拶といたします。

就任のご挨拶

統監

光善寺住職

松原徹心



ご修行学識ともに豊かで徳望厚い宮田玄洞老師の後任者として、昨年の七月二十一日付で本職の辞令を拝受いたしました。

拝命したものの拙々の身にとっては、降って湧いたような事で、あれよあれよと云う間に日が立ち、早や八ヶ月が過ぎてしまいました。

いまに実感として去来しますのは、これは大変なお役をお受けしたものだと思ふことと、今日まで当センターを起し承継ぎ統監・主監・賛事職を勤められた老師宗師の御労苦と敬服しきり。

加えて、歴代の管区長老師をはじめ各宗務所の所長老師並に役員諸老師・センター布教師各位のご支援外護のご法愛が有難くしのべれます。

全国で三番目に発足しました当センターは今年で二十六年を数えます。ご案内の通り来年は、高祖大師御生誕八百年を迎えます。さらに、御伝記中に育父源重相様の二十七回忌・報恩の御上堂を拝しますとき、薬山禪師の「非思量の話」が挙され、真実坐禅の功德を巡らし御両親の御供養に回向なされました。この尊いご縁古事を頂く法縁として明年発足二十七年に相当する教化センターの一員となりましたことは、深い祖縁の機を頂いたようで一層この責に緊迫を覚えます。

法縁同行各位のご道情を乞い、今日までの敷かれた路線・歴代統監老師の踏まれた軌にならい精進いたします。どうか、よろしくご指導たまわりますよう伏して御願ひ申し上げます、遅まきながら就任の挨拶とさせていただきます。

合掌

余間に是非、ご免下さい。

先日宗務庁で、教化センター全国中央集会所が開催され、当センターは全員が受講いたしました。

その席で教化部長老師のご挨拶中、宗務庁に届けられた一檀信徒からの投書が発表されました。前略「曹洞宗のお坊さんは、髪が長い方が多く、私の寺のお坊さんもそうですが、常日頃あの頭に作務衣などを着て、高級車に乗りパチンコ屋に入りたりしていますと、何とも：お坊さんとしての気品・品位が少しも感じられません。異様な印象を人々に与える形だけのかっこうなんて、社会に受け入れられるのでしょうか、曹洞宗の今後が心配されるのです。お許し下さい。」(中略)しましたが、

娘を見る目は糸より細く嫁を見る目はどんぐりまなこ。

といますし、見方考え方でそれぞれですが、無関心からは投書は起りません。この投書を私はようこそといただき、コピーをお願いした次第です。

金子みすゞさんの詩を探し出した児童文学の矢崎節夫さんは「お盆が大好きです、お盆には若いお坊さんが墨染の衣でお経を上げに、そのお坊さんの清々しさ・さわやかさは何とも云えませんが、しみじみ曹洞宗はいいなあ」と実感しています。」と、語りかけてくれました。

矢崎さんのお寺は東京で、お盆のときは御本山総持寺からの用僧さんがお勤めのようでありました。

激動の世情なるが故に、尚のこと僧侶の姿勢が問われているのでしょうか。

中国管区長退任のご挨拶

前鳥取県宗務所長 中井雅由



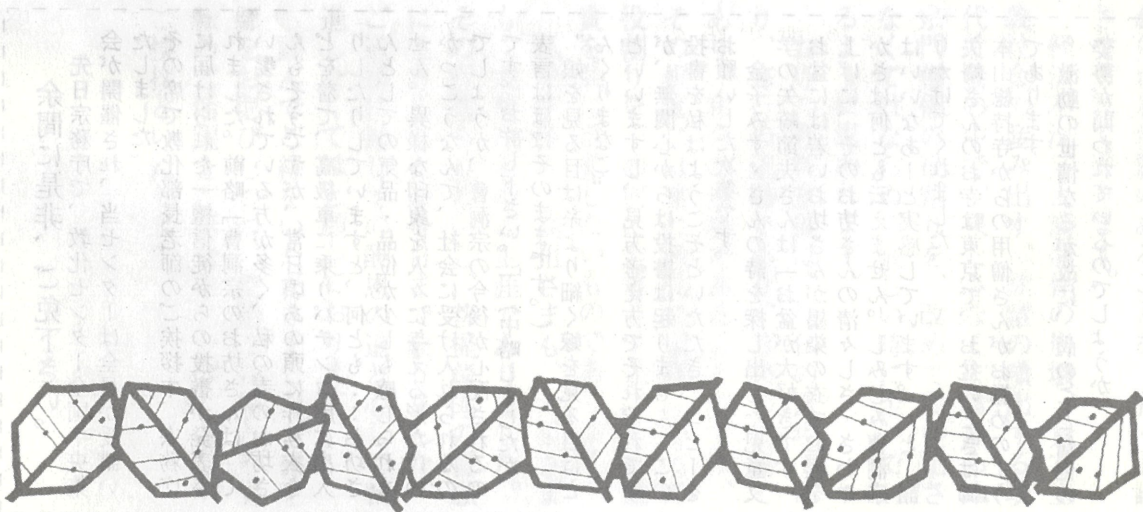
一陽来福之季節

御尊董老師益々御清祥にて白白四衆御接化大慶に存じ上げます。

今般宗務所長交代期を迎え、鳥取県宗務所長及び中国管区長を辞任致しました。光陰逝水に似たりの言葉のとおり、早いもので二年間の管区長も管区センターの御指導と各宗務所長老師の温かい御厚情と深い御理解と力強い支えによりまして任を完うし得ましたこと感謝を申し上げます。

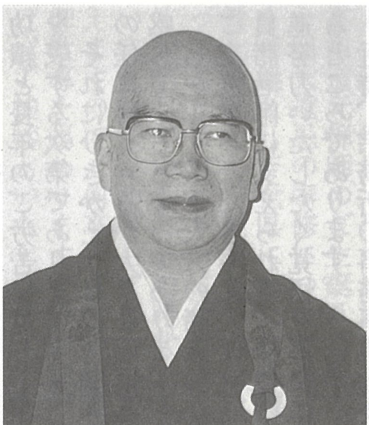
とくに平成十年度曹洞宗中国管区集會並に宗門護持会開催に当たっては会場

県でありました岡山県宗務所長老師をはじめ各職員御老師の御協力によりまして無事盛会裡に終わりましたことを重ねて厚く御礼を申し上げます。今後共老令ながら寺門護持のため微力ではありますが祖恩に報いたく存じます。最後に中国管区の愈々の御発展をお祈り申し上げます。尚各御老師御自愛の程を念じ上げ退任の御挨拶と致します。



中国管区長就任のご挨拶

鳥根県第二宗務所長 佐瀬道淳



梅花統びる陽春の候、管区内ご寺院諸老師には、ますますご清祥の趣大慶至極に存じ上げます。

先日本庁に於いて管長猥下より親しく管区長の辞令を頂戴して参りました。向後二年間、鳥根県第二宗務所が当番ということですので、不束ながら宗務所役職員共々精一杯その職責を果たす所存でございますので、何卒管区内各宗務所、教化センターの役職員諸老師、並びに管区内各ご寺院様の格段のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

前管区長中井雅由老師には壯者を凌ぐご健康と豪放磊落なお人柄らで天真

爛漫裡に能くその大任を全うされました。また鳥取県宗務所の皆様のご労苦に対しても、深甚なる敬意と謝意を表わしたいと存じます。

ご承知の通り、管区の執り行います主な行事は、宗門護持会中国管区集會と近年それに併せて実施されます檀信徒集會。三者人権協議会と、それを受けての管区内各宗務所及び教化センター役員の人権学習や、管区布教委員長会議等であります。

そして、以上でもお分かりのように教化センターとの密接な連携があります。管区の行事、センターの企画とお互いに表裏一体となりながらいよいよ

緊密な参加協力の実を上げて参りたいと念願しております。勿論、情報交換等を通じて、各宗務所との連絡調整や提携も大切な業務であることは言を俟ちません。これまた一層力を入れて参ります。

就中、目前に迫った道元禪師様のご生誕八百年の慶讃、七十五年大遠忌法要に就いては、宗務所と管区がそれぞれの立場に応じ何を成さねばならないのか、衆智と和合力を結集してこれが大円成に向けて取組むことこそが喫緊の責務と存じます。

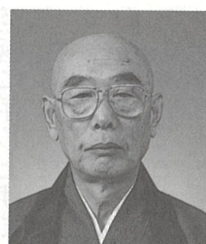
さて永平寺様の大遠忌事務局からの標準志納一覧を具さに拝見してきますと、様々なことが見えて来ます。冬の気圧配置は西高東低といいますが、宗門は実勢でも教線の上でも東高西低になっています。そんな中で、わが中国管区はといえば、関東管区や東海管区を雄藩とするならば至ってこちらまわりとした中位の小藩といったところでしょう。

然し逆に言えば、大変に纏まり易い手ごろの管区だと思えます。どうか呼ばば応え合うような温かな血の通った中国管区として、更に発展充実を期したいと存じますので、重ねて特段のご叱正ご負担をお願いして、就任のご挨拶とさせていただきます。

宗務所長就任のご挨拶

宗務所長就任にあたって

岡山県宗務所長 樋口成徳



前宗務所長矢木亮司老師の後をうけて、昨年十二月十一日付で、不肖私が所長に就任させていただきます。

前所長老師は、十数年の長きに亘り、宗務所行政に携われ、各般において大きく発展に導かれ、すぐれた実績をあげられました。その功績と長年のご労苦に対し、深く感謝を表する次第であります。

それにひきかえ、私は薄徳非才、その任に耐えうるか大きな危惧と重圧を感じているところであります。

しかし、県下大方の諸老師から厚いご支援をいただき、又大変有能な役員諸老師に支えられて、今後四年間精進努力いたしたく覚悟を新たにしているところでありませぬ。

近時、宗務所の事務事業も多岐に亘り、行政需要も増加しております。これに対応するためには、事務の合理化、簡素化、スピード化が課題で、今後管区教化センター、中国管区各宗務

教化者として

広島県宗務所長 鈴木章純



この度、広島県の宗務所長に就任致しましたが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

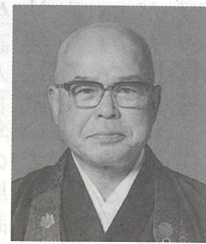
私達宗侶は、日々人に対して法を説き、命の尊さを教えようとしています。そして、人権・平和・環境にも取り組んでいます。正に命に繋がる大切なテーマです。

最近管区の会合で、会議場が禁煙でした。管区長老師の大英断と思いが、宗門の集会でこのような措置が取られたことは、画期的な感じがしました。しかし、人権と環境を考えれば当然のことかも知れません。

喫煙は、お釈迦様もご存知ない個人的嗜好ですが、吸った途端に周囲の人に対する加害者となり、自身の健康を

宗務所長就任にあたって

山口県宗務所長 南 正道



このたび、宗務所長改選にともしない三期十年にわたり、宗務行政に卓越した手腕を発揮された藤井太禪老師のあとをお引き受けすることになりました。任期満了で退任されました所役職員諸老師の素晴らしい実績とご労苦に対し深甚なる敬意と謝意を表わしたいと思います。

近年、宗務行政は多岐にわたり、多くの課題をかかえておりますが、幸い有能な役員に恵まれ、宗議老師、教

宗務所長就任にあたって

鳥取県宗務所長 倉瀧眞清



区長諸老師をはじめ管区教化センター統監老師のご指導、ご鞭撻を賜わりながら職務の遂行に全力を傾ける所存であります。また、宗門教化の指標である人権、平和、環境問題の実践活動と高祖道元禪師のご生誕八百年、七百五十回大遠忌の奉修については、各教区を基盤として全県にわたり寺檀一如の教化活動として推進してゆきたいと思っております。さらに今日の社会が強く要請している「心の時代」ふさわしい宗務行政をめざして努力したいと考えますので、何卒、各御寺院諸老師の御教導を賜わりますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

宗務所長就任にあたって

高根県第宗務所長 川瀬信夫



諸老師はじめ所護持会・寺族会・婦人会・青年会各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

あの忌まわしいオウム事件以来、宗教に対する社会の関心が高まっている折から宗教学者の運営に関し、先きの宗教法人法の一部改正により法人を取巻く環境が厳しくなり、所轄庁へ関係書類の「写し」提出となったのであります。先般、全国所長会議の席上においても必ず提出する旨の指導がありました。したが、思うに長年に渡り未提出寺院の場合「不活動宗教学者法人整理の推進について」(昭和五八・十・三 宗務課長通知)に定則するのではないかと危惧し、警鐘するものであります。

何卒、ご理解頂き提出をお願いいたします。

宗務所長就任にあたって

このところ世相みるに、凶悪な犯罪の増加、人間関係の複雑化等々混乱の時代に、最も必要とするものは宗教であると信じています。私共、宗教家として祖師の教えしつかりと受け止め、百尺竿頭一步を進める心境にて布教活動をしていきたいと思います。

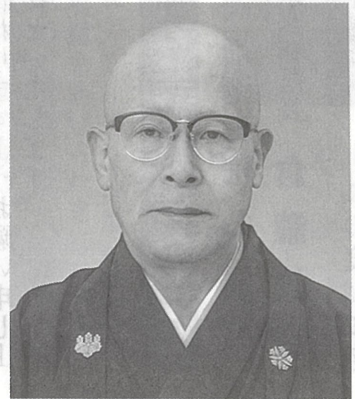
所長の就任に当り、お願いとご挨拶を述べさせていただきます。

この度、ご老宿方のご推挽を賜わり、宗務所長に就任するに当たり、誠に身に余る光栄に存じつつも、もとより浅学非才その重責を果たせるか危惧しておりますが、幸いにも有能なスタッフに恵まれ何よりも幸せなことと思えます。微力ながら

「現代に問われる葬祭の意義」

オーブンフオーラムに参加して

統監 松原徹心



「誌上法話」に代え勝手ながら誌上提言させていただきます。

四月十三日東京グランドホテル桜の間で、四月一日付で発足した「曹洞宗総合研究センター」の記念オーブンフオーラムに村上主監と参加いたしました。

講師は大村英昭先生（大阪大学教授・宗教学・浄土真宗西本願寺派僧侶）が「現代における葬祭の意義」。

波平恵美子先生（お茶の水女子大学教授・文化人類学）が「地域社会における葬祭の現状と問題」。

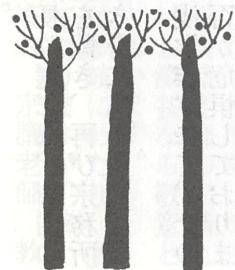
養老孟司先生（東京大学名誉教授・北里大学教授・解剖学）が

「現代と共同体」と、それぞれ三十分の主張講演に続き、宗門内から、

角田泰隆先生（総合研究センター 宗学研究部門副主任研究員）
鈴木永城師（仏教情報センター 代表幹事）

盛田正孝師（関東管区教化センター 主監）

篠原鋭一師（曹洞宗人権啓発相談員）の四師が、ご自坊の運営実態を通して十五分ずつの意見発表。



意義があると思われ、例えば悲しみを生きたる力へと転換するようその言動が、一転語とならねばならぬと。

篠原師は住職としてその現場から、今お互いを取り巻く状況——とりわけ葬祭に関して——、激戦化する葬祭ビジネス、結婚式業者は尻すぼみで葬祭業者は、向う三十年は激増するであろうと、その競り合いから様々な現象が起るが、振り回されることなく使命の自覚、更に教理の把握と自信のある言動で対応することが力説された。

表面だけの紹介に終わりますが、参考になることが多いと思いました。
仏僧は一にも二にも三宝に帰依し、帰依し竟った身であります。竟ったとは、各々確立されたということではありませんか。だからお授けが出来るのです。

世相が不安なればなるほど、僧に待たれ問われるこの現実を切に見つめ、帰依し竟っているかと自己に問い奉観承事すべきであると、自分に言い蛇足ながら提言いたします。



休憩二十分を入れ四時間半に及ぶ公開討論会は、全く久し振りに充実感を覚えた、聴き応えのある貴重なフォーラムでありました。

詳細については、やがて宗報に発表されることと思いますが、総じて感受しましたことをご紹介します。

まず、三人の先生方のお説から葬祭の不用は一言も出ませんでした。要するに、個の立場からも共同体の場合でも葬祭の意識は通有で、欠かされないものとされている。だが、変容している現代に仏教の言説が次第に力を失いつつある。と受け止めました。

次の意見発表では、角田先生からは宗学と現宗門葬儀のかかわりについて、道元禅師の教義から、葬祭の意義付けはなし得る。と、

鈴木師は、仏教テレフォン相談・面接相談等から得られた情報をまとめられ、主に寺檀の関係が無いまたその縁の浅い方々の不安と心配ごとが挙げられその対応如何と。

盛田師は葬儀を通し教化することに

七月二十八日から七月三十日にかけては友だちの竹内くんと小倉くんと二泊三日のサマーセミナーにきました。楽しい事がいっぱいありましたが、その中でも心に残っているのがひろさちや先生の話の一回目の話です。

その話はひろ先生のインドの思い出でした。

どんな話かというと、インドに行ったひろ先生が道に迷ってしまい、こまっていた所をインド人が道案内をしてくれて、ひろ先生はともう

長曾 靖史 (小五)

「サマーセミナーの思い出」

クの火はとてもきれいでした。

サマーセミナー最後の日です。よなからパーティーでございそうがあつて、さういこう！そのあとの名しこうかんでいるんな人の名しがあつたり、うれしかったです。

ひろ先生のおはなしでもゲームでもしんけんになつてさんかできましました。

またきたいです！

れしかつたのでお礼にお金をあげようとしたら「いらぬい。」と言うので、お金をしまつたら、

「おれは今おまえに親切にしただろう？」

とインド人が言うのでひろ先生は、もつとお金がほしいと言つていて、思つて、もう少しお金をふやしてインド人にあげようとしたらまた「いらぬい。」と言うので、ひろ先生がお金をしまつたら、



「おれは今、おまえに親切にしただろう？」

と言うのでしかたなくひろ先生はお金をもう少しふやしてあげようとしたら、また「いらぬい。」と言うのでお金をしまつたら、インド人が自分はお金は何をしてほしいか言いました。

「お金はいらぬいけれど、おまえはだれでもいいから、だれか一人に親切にしてやってくれ、それがおれにたいする本当のお礼だと思つてくれ。」と言つたのです。もし、この考え方が続いたら、それは一つの輪のように自分にもいい事がかえつてきます。またそのように他人を思いやる気持がふえれば、きっと世の中が平和になってきます。かくばくだんや、戦争もきつとなくなつていくはずですよ。みんながもつともつとこのような考え、仏さまの考えをもつていけばどんなにいい世の中になるかとぼくは思いました。ぼくはこれからこのような考えを少しでももつて生活の中に生かして行こうと思つています。



親子ゼンインサマーセミナー

サマーセミナーについて

大崎 恵 (小四)

今年、初めてサマーセミナーにきました。島根県のさくらえ町というところで木や水が多いところで、緑がたくさんあつてくつきがよくていいところだと思つました。

風の国でおはなしをきいたりざぜんをおそわつたり、ひろさちや先生のおはなしでいろいろなべんきょうができました。

サマーセミナー初日ではどんどん友達ができ、いっしょにあそんだり、はなしあいなどができました。セミナーの行事のゲームなどもなにかあるかわくわくしていたし、マジックショーやふくわじゅつもとってもたのしみでした。ブリちゃんのおふくわじゅつは笑えました。



二日目からざぜんが始まりました。足がしびれてつかれました。おきょうよみもです。午前中にステンシルをしました。あまりうまくできなかったけど楽しかったです。夜のキャンプファイヤーは雨のため、中止になったけど、暗い中にひかるローソ

禅をきく会

広島

広島県宗務所 庶務主事 稲角道雄

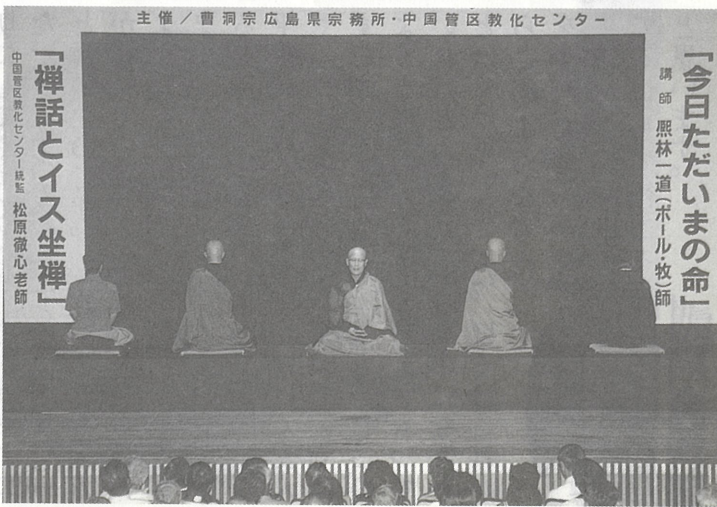
平成十年九月四日、広島県宗務所としては、二回目の「禅をきく会」を檀信徒地方研修会と併せて、三原市文化会館を会場として開催されました。管区内の宗務所の資料を参考にさせて頂き、教化センターの方々と打合わせをしながら準備を致しました。

前日は午後三時より資料の袋づめ及び舞台の準備等、当日は、早朝より準備、リハーサル等を行い、十時より檀信徒地方研修会を開催し、人權学習等にて正午に終了を致しました。研修会に参加された方々は、昼食を済ませられ各々開幕を待たれました。一般の方々も早い方は午前十一時頃には来館されました。午後の受付時間を少し早めに変更して入場していたいただきました。続々と入場され会場内の整理、空席の状況を把握しながら入館者の誘導を行い、開会前

にほぼ満席の千百人程の方々と、一杯になり会場も熱気につつまれました。

定刻一時半には開幕会場全体が明るくなり開会の辞に続き、主催者を代表して垣井宗務所長の挨拶と続き、まちにまつた講師ポール牧氏の講演となった。演題は「今日たたいまの命」であった。副題として「一大事」を、今生きてる状況として話を続けられました。巧みな話術で大いに盛り上げ、熱演に会場は頷きと、爆笑の連続であった。予定の一時半もあつという間に過ぎ講演は終了しました。熱気の残っている会場は、誰ひとりとして席を立たれる方もなく、禅話、椅子坐禅を迎えました。

御詠歌「浄心」の独詠が唱えられる中、教化センター統監松原徹心老師を中央に、六名の坐禅人が坐る中禅話が始まった。統監老師は、小さ



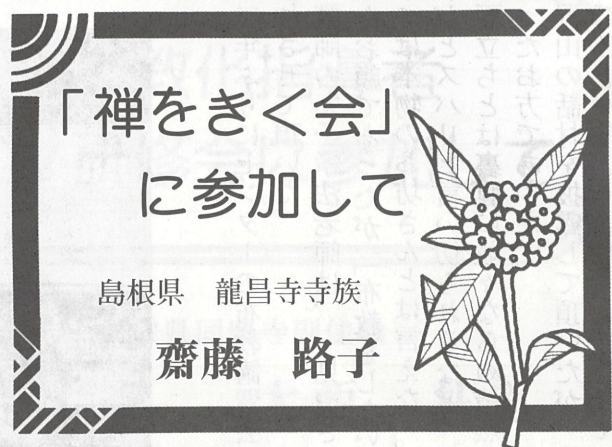
な命の大切さに触れられながら、仏の道を説いていかれ後、坐禅指導へと移られ椅子坐禅の開始となった。わずかな時間であったが、参加者一同禅に親しみ自分を見つめ直す時間を持てた事で、満足出来た様です。最後に、森藤宗務所副所長の閉会の挨拶で、無事盛会裡に円成した。

いとのこと、正にその通りで深く反省させられました。

七十五分という限られた時間でしたので双方に、「話し足りない。聞き足りない」という感があつたのではないのでしょうか。

午後は例年の梅花流奉詠大会でした。日頃研鑽を積んでこられた講員さんのそれぞれの立派なおとなえを聞かせていただきました。

時候柄気になつていた天候にも恵まれ、周囲の自然環境も良く、仏国士に身を置いた一日でした。いろいろの事情で二種の会の併催は止むをえないことですが、減多にお招きできない遠来の講師様には十分な時間を差しあげられないものかと残念に思いました。二兎を追うことの憾みを拭いきれないまま会場を後にしたことでした。



去る二月二十八日、三隅町中央会館での「禅をきく会」に参加させて頂きいただきました。

松原統監様の熱心な坐禅指導のもとに、しばらく坐禅をいたしました。大忙生の世の中で、しばし雲悠々の一時を過ごさせて頂きました。その後トイレ休憩の余韻で場内が静まらぬままに、青山俊董様の講話と

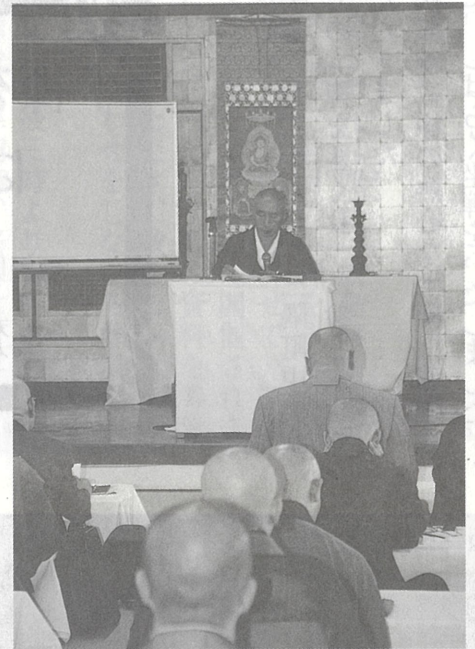


なりました。「梅、早春を開く」という時宜にかなった演題でした。天下一品のすがすがしい笑顔と「何ごとも受けとめる自分の方に問題があると気付かせていただく」という言葉がとても印象的で心に残りました。自分にとって都合のいい眼鏡で見ているはずらしい世界は見えてこな



センター布教協議会・講習会

鳥取県 瑞仙寺住職 長曾 龍生



二年ぶりにセンターの布教講習会に参加させて頂いた。

講師の丸子孝法老師は、一見やさしげなお顔であったが、「布教をしないようでは本物のお坊さんとは言えない。」などとズバリと言いつけられるなど、その面立ちとは裏腹に並々ならぬ情熱を持ったお方であった。
沢山の話を披露して頂いたが、特にご自信の托鉢の体験に裏打ちされた

「♪私が私になるために、人生の失敗も必要でした♪」などと、あまりうまくない自作の歌を披露されるなどして、話に動きを持たせることなど、私たちにとても参考になることをいろいろと指導して下さいました。

さらに、吉田道興先生による人権学習も、かなり踏み込んだ内容であり、普段ついなにげなく読誦してしまいがちな「修証義」について真剣に考えるよい機会となった。

このように今回のセンター布教講習会は、例年にも増して有意義な講習会であったと思う。

ところで、我々鳥取県の第七教区でも布教委員会が中心となって布教講習会を行っている。始めは有志のものが五、六人ばかり集まって、布教の方法について自由に話し合いをする場を作ろう、という軽い気持ちで呼びかけたのであったが、殊の外反応が大きく、こちらの予想をはるかに越える参加者を得ている。

僧侶の役目として、お釈迦様や道元禪師の教えを説いてゆかねばならないのは当然のことである。しかし、その方法を学ぶということになると、案外そういう機会は少なく、結局は個人個人の努力にまかされているのが実状ともいえる。あらためてこのような講習会の大切さを知らされたような気がするこの頃である。

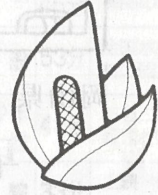
なぜ子どもたちは、お寺の住職である増田老師に心を開いていったのか。私にはそこに、子どもたちを仏教という大きな器でしっかりと受け止め、彼らの心を温かく見つめている一人の僧侶の姿があったのだと痛感した。

いま仏教の「慈悲」との対極にあるものは何か。それは、「無関心である」と最後に語られた増田老師の言葉が脳裏に刻み込まれて、いまだに忘れられないことのできない。

青少年教化指導者 研修会に参加して

鳥取県同慶寺副住職

大西 基道



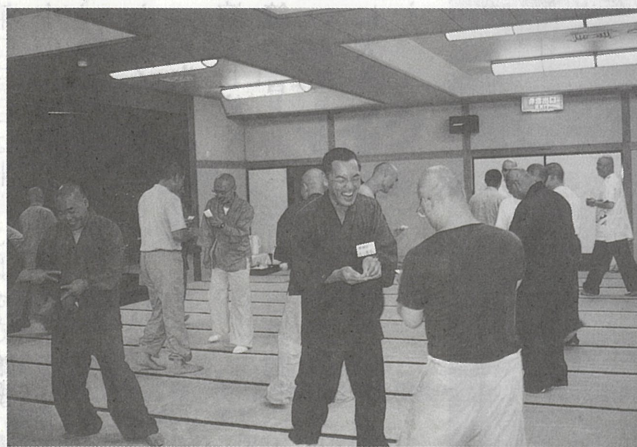
昨年の六月に、米子市で開催された青少年教化指導者研修会に参加させて頂いた。その研修会における増田友厚老師の「見えますかゆれる子どもの心」という講義は、子どもたちにとっていま何が必要とされているのか。そして、私たち僧侶として、いま何が出来るのかを喚起する大変感銘深いお話であった。

た。

増田老師は、学校生活に馴染めない中学生たちに、お寺で勉強を教えるようになったご自身の体験を通して、今の子どもたちが抱えている心の悩み、学校教育に対する不満、そして、家庭教育の問題点などについて次のように指摘された。

現代の子どもたちの特色として、彼らは、自分の言葉で自分の意志を伝えるための能力が欠如している。また、自分のプライドを傷つけられることを非常に嫌っている、そして、子どもたちにとって嫌な先生とは彼らを信用してくれない先生であり、子どもたちをバカにして見下すような態度をとる先生。信頼される先生とは、彼らのことを信用してくれる先生だということ。一方家庭においては、親が子どもたちを受け止める器が小さく、子どもたちを簡単に見捨ててしまう傾向にあること。

私は老師のお話を聞きながら、「心豊かな人」というのは、他人の心の中にある喜びや苦しみがよく理解でき、共感し、共鳴できる人のことであると感じ取った。



新入所16ミリフィルム

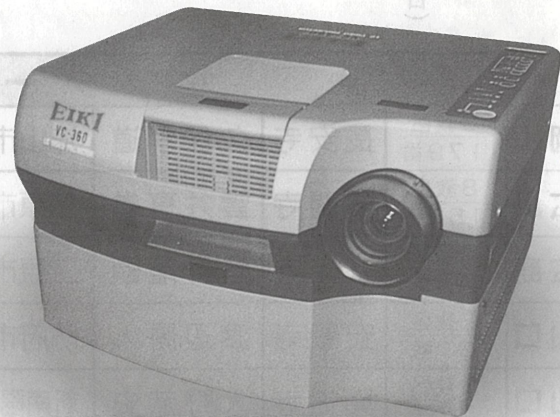
1	びょういんの木	青少年	54分	大気汚染による喘息の少年が、病院の病内学級で妖精や家族たちから生きる勇気と希望、人間の輝きと温かい思いやりを教えられていく。
---	---------	-----	-----	--

新入所ビデオ

1	今、道元禅師を生きる。	一般	23分	道元禅師ご誕生800年を迎える。現代の私たちの生活の中にも禅師の教えは、習慣や作法として生きていることを映像で紹介する。
2	天童禅寺 上下巻	一般	各45分	道元禅師が中国で御修行された天童禅寺の伽藍や行事の紹介。禅師の中国での足跡をたどる。
3	3月3日の風―「水平社誕生物語」	一般	53分	全国水平社創立者の一人、西光万吉の生涯を描いた映画。村の同志と共に荒波を乗り越えながら水平社を作り上げていく。
4	蛍の舞う街で (アニメ)	青少年 一般	42分	ある二つの家族の交流を中心に物語を展開し、日常生活の中に差別・偏見といった問題が起こり、互に考え成長していく家族を描いたアニメ。
5	「差別戒名」について考える	寺院	33分	上映・討論・学習のための補助教材。

ビデオプロジェクター導入しました。

ビデオテープをスクリーンに映し出すことのできる映写機です。画面サイズは30インチから最大300インチまで自由に変えられます。お気軽に御利用ください。



使用時の注意

同封の説明書をよく読み御使用下さい。異常が生じた時は、必ず賛事の宇田か中山迄すぐにご連絡ください。

マイク・スピーカーの貸し出しします。

法要・講演で必要な方は、お気軽にご連絡ください。(マランツ製)

注意事項

- 使用報告書は映写後、必ず記入して下さい。
- フィルムは映写機の使用法を十分に心得た方が取扱うようお願いします。
- フィルムが切れたり、傷のついた場合は、その箇所を明示してご返送下さい。

フィルム貸し出しについて

- 教化センターの活動に支障のない場合に限り貸し出します。
- 使用料は無料とします。
- 貸出し期間はそのつど、検討し決定します。
- 損傷した場合はセンターの指示に従っていただきます。
- 申請書を早目にセンターまでご提示下さい。



岡山県 千光寺寺族

早川直美

去る十月十二・十三日の両日、曹洞宗婦人会中国管区研修会が、倉敷市の山陽ハイッツで開催された。中国五県より二百余名が参加。今回岡山県が当番で矢木亮司宗務所長をはじめとする宗務所主事の各諸老師、古米鏡郎県護持会長が臨席して下さり研修会に華を添えて下さった。開会式では、参加者全員が搭袈裟偈をお唱えする中おごそかに輪袈裟

授与式が行われ、すばらしい研修会の幕開けであった。研修会はず、エッソ石油株式会社副社長から仏門に入った松野宗純師の「鐘の音は日々新たななり」と題する講演があった。企業人として生きてきた定年が近づくと「生きる意義は何か」という人生の命題を真剣に考えることがなかった。縁あって加賀の大乗寺で修行するうちに「生きる意義」はひたすら求道し、人のために尽くすということをはっきり自覚できたという師の貴い体験を通してのお話であった。次に桑元謙芳先生の「生きる喜び・生きる楽しみ」と題した人権学習であった。容姿・学歴・家柄等の既成概念にマイナス思考でなく、先入観を払拭したプラス思考する生き方をしなければならぬ。そうするうちに生きる喜び、楽しみが生まれるという内容であった。薬石後のレクリエーションは、定光寺住職照田博道師の歌唱指導で楽しいひとときを過ごした。



第二日は坐禅によって始まり午前中の体験発表は、岡山県より、片岡、松永の両会員が行った。しめくくりとして再び松野宗純師の「人生この道の果てまで」という講演でしめくくった。鐘の音と共に毎日毎日素晴らしい出会いがあります。今回の出会いを大切に大きな輪にしていきたいと思えます。

曹洞宗中国管区教化センター 平成十一年度事業計画

平成十一年四月一日～平成十二年三月三十一日

- 全国教化センター役員中央協議会 (四月五～六日)
- センター企画委員会 (四月二十一日)
- 中国管区教化センター布教師協議会 (四月二十七日)
- 曹洞宗婦人会中国管区研修会準備会 (五月)
- 青少年教化指導者研修会 広島 (六月十七～十八日)
- 禅をきく会 岡山 (六月二十三日)
- 管区役員人権学習会 (七月五～六日)
- 第十五回親子ゼンインサマーセミナー 広島 (七月二十六～二十八日)
- 中国管区集会 (九月九～十日)
- センター布教協議会・講習会 島根県第二 (九月十六～十七日)
- 禅をきく会 鳥取 (十月一日)
- 布教師特設検定 九州 (十月五日)
- 曹洞宗婦人会中国管区研修会 (十月二十～二十一日)
- センター運営・企画委員会 (十一月一日)
- 全国教化センター役員中央協議会 (十一月十九～二十日)
- 中国管区教化センター報16号編集会議 (平成十二年一月)
- 中国管区布教委員長会議 (二月)
- 島根県布教講習会 (二月二十三～二十四日)

センター布教師

岡山	6教区 179番	長安寺	久保孝道	津山市西寺町52	☎ (0868) 22-6878
広島	8教区 151番	多聞寺	雲井亨拳	庄原市市町723	☎ (08247) 4-0809
広島	3教区 58番	宗光寺	垣井龍顕	三原市本町1972	☎ (0848) 62-4719
山口	2教区 37番	安養寺	渡辺勝人	防府市新田古前1246	☎ (0835) 22-1865
山口	3教区 72番	真福寺	大野恭史	新南陽市福川中市町6-27	☎ (0834) 62-2760
島根Ⅰ	1教区 236番	宝隆寺	和田善明	邇摩郡仁摩町宅野町1355	☎ (08548) 8-2790
島根Ⅱ	9教区 187番	養善寺	西古孝道	大原郡木次町湯村900	☎ (0854) 48-0371

センター役員

統監	松原徹心	光善寺	〒755-0035 山口県宇部市西琴芝2-1-46	☎ (0836) 21-5465
主監	村上邦雄	摩訶衍寺	〒722-0202 広島県尾道市原田町梶山田4338	☎ (0848) 38-0656
賛事	宇田治徳	雙照院内	〒723-0045 広島県三原市田野浦町1218	☎ (0848) 62-4550
賛事	中山尚三	源樹寺内	〒716-0121 岡山県川上郡成羽町成羽3217	☎ (0866) 42-2630